

令和5年度第1回旭川市スポーツ推進審議会 会議録

日時	令和6年1月30日(火) 午後6時30分～午後8時20分	
場所	旭川市総合庁舎 会議室7A	
出席者	委員	7人(敬称略:五十音順) 飯田委員, 大熊委員, 島田委員, 角尾委員, 武田委員, 富田委員, 古川委員
	事務局	5人 スポーツ課(松田課長, 森田施設・合宿担当課長, 大野主査, 松本, 成田)
欠席者	委員	3人 池田委員, 永瀬委員, 古高委員
会議の公開・非公開の別	公開	
傍聴者	(1)市民 0人 (2)報道機関 0人	
議事	1 開会 2 議題 (1) 花咲スポーツ公園再整備について (2) カムイスキーリンクスについて (3) ハーフマラソンリニューアルについて (4) 今年度の事業について 3 閉会	
会議資料	資料1 花咲スポーツ公園再整備基本構想(素案) 資料2 カムイスキーリンクスリフト料金の見直し(素案) 資料3 2024旭川ハーフマラソン リニューアル概要 資料4 今年度の事業について	
議事内容等	発言者	発言の要旨
1 開会	事務局	委員3名が欠席の旨を報告 委員2名の変更について報告・委嘱状の交付 事務局の紹介
	会長	会長挨拶
2 議題 (1)花咲スポーツ公園再整備について	会長	議事第1号について事務局から説明願います。
	事務局	資料に沿って説明
	会長	ただ今事務局から説明がありました。意見や質問等がありますか。
	委員	(発言なし)
	会長	では私から先に発言させていただきます。まずこの計画は市で作ったのか、スポーツ推進計画のプロスポーツの推進には新アリーナのことは書かれていないと思われませんが意見を伺います。
	事務局	観光スポーツ交流部と土木部で作成しています。スポーツ課では体育館やアリーナ部分, 土木部では公園全体の整備について主に担当しています。計画では総合体育館の建替えやプロスポーツの推進という項目にも関係しています。
会長	他都市では興行の方が利益が多いためスポーツ利用が制限されていることがあります。市民の利用が制限されないようにしていただきたいです。	
事務局	資料8Pのとおりスポーツの市民ニーズを受け入れた上で生じた空きを興行利用にも利用できるというものであり, 市民スポーツの受け皿となることを第1に考えています。また, 興行については契約などで利用の制限を設けることも検討していきます。	

委員	アリーナ建設については賛成の立場です。ここでやれたら素敵だと若者に思ってもらえれば良いステータスが得られると思います。プロフィットセンターの運用を失敗しないようにしていただきたいです。	
委員	北海道で第2の都市にしては建設が遅かったなと思っています。大会の誘致にも効果的です。興行利用等に対応できる機能や設備とは何を指しますか。	
事務局	アリーナ部分は音響や照明、公園部分はカフェや子ども向け施設などです。アリーナを核として公園全体が賑わうことで、地域の活性化を図ります。	
委員	プロスポーツも市民も使いやすいようにしていただきたい。予約が重なったときの優先順位はどのように考えていますか。	
事務局	プロスポーツと全国大会など種別や規模に応じて優先順位が生じると考えられます。例えば事前受付時期をずらすなどの方法も考えられますが、細かい部分は今後検討します。	
委員	東光と花咲の棲み分け、モデルにした都市があるのか伺いたい。	
事務局	8P下段のとおりで、東光の体育館が現在の総合体育館に近いイメージとなります。また、函館アリーナや滋賀アリーナなどを参考としています。函館は一回り大きいアリーナですが、市民利用とコンサートなどの興行を上手く運用できていると感じています。	
委員	理想像ですがエスコンのようなものまで目指していたりしますか。	
事務局	エスコンは周辺を含めて素晴らしいと思いますが、日ハムが費用を負担しており、花咲では市が計画に参加していただける民間事業者などを募集していく部分でエスコンとは異なるものと考えています。	
委員	アリーナ自体も民間に建設してもらおう可能性はあるということですか。	
事務局	そちらも踏まえた様々な可能性について調査を行う予定です。	
委員	東光スポーツ公園のサッカー場を利用することがありますが、公園利用者も多く駐車場に困ることがあります。旭川は車移動がとても多いので、駐車場を確保していただきたいです。	
委員	新しい体育館は青森など素晴らしい所を参考にしつつ、旭川にあった魅力も取り入れていただきたいです。先ほどの駐車場の確保も旭川ならではの課題ですね。一番は市民のスポーツのためにということをお願いします。	
会長	それでは意見も出揃いましたので議事第1号を終わります。	
(2)カムイスキーリンクスについて	会長	議事第2号について事務局から説明願います。
	事務局	資料に沿って説明
	会長	ただ今事務局から説明がありました。意見や質問等がありますか。
	委員	(発言なし)
	会長	では私から先に発言させていただきます。20時間券についてシーズン中はずっと使えるということですか。リフトも5分前に乗るとお得という理解で良いですか。
	事務局	シーズン通じて利用でき、20時間は正味の時間となります。ICゲートを通じた時に1時間減算され、その1時間は何回でも乗り放題となりますので、ICゲートを通するタイミングが1時間経過する5分前なら減算はされません。食事などで休憩しているときもICゲートを通しないため減算されません。
	会長	小学生も20時間券ありますか。
	事務局	小学生は1万円、未満児は無料になります。
	委員	20時間券は他の券に比べて時間単価が安いので、繰り返し利用する市民のメリットになるのでとても良いと思います。あとはネーミングが20時間券だけではわかりづらいですね。
	事務局	他のスキー場でも同様のネーミングで販売しており、知っている方が見ればわかると思いますが、知らない方も多いため周知方法などは検討します。
	委員	20時間券はお得ですということをどう周知していくか難しいですね。他のスキー場も同様の仕組みの券があり、中には1時間券を販売しているところもあるので、色々と調べてみるのも良いかもしれません。
	事務局	他のスキー場については調べ切れていない部分もありますので確認します。同規模のスキー場と比べてかなり安いですが、極端に安いと逆に敬遠されるということを耳にしたこともありますので、スキー場の価値に見合った料金設定を指定管理者とも協議していきます。
	委員	確かに富良野とかに比べるとカムイスキーリンクスは安いですが、ただスキー人口が多くない中で急に料金を上げるのはどうなのかなと思います。
	会長	一番低い上げ幅の120%だとしても、市民の方がどう捉えるかですよね。

	事務局	御意見として受け止めさせていただきます。これからパブリックコメントなども行い市民の意見をよく聞いていきます。
	委員	学校授業で利用する料金も上がると思われませんが、バス代も高騰しておりスキー授業の回数を減らすか、保護者の負担が増えてしまうか影響があると思われま。
	事務局	子どもの料金については値上げ幅を抑えるなどして極力影響が少なくなるように考えています。
	会長	それでは意見も出揃いましたので議事第2号を終わります。
(3)ハーフマラソンリニューアルについて	会長	議事第3号について事務局から説明願います。
	事務局	資料に沿って説明
	委員	フルマラソン化に向けた構想はありますか。
	事務局	他都市ではフルマラソンに1億6千万円程度の経費がかかっている市もありますのが、本市のハーフマラソンは3千万円程度ですので、費用面の課題があり、現時点で具体的な構想はありません。今後、ハーフマラソンの魅力向上を図り、その先にフルマラソンに繋げていければと考えています。
	委員	網走のフルマラソンに出場したときに、市長がゴール地点に6時間待機してゴールした人全員と握手をして、まちを上げてマラソンを推進していることが伝わりました。リピーターも多く、参加者の満足度は全国NO1の大会です。市職員がエイドでものまねをしたり、会場内のキッチンカーで使えるクーポンなどもあり、完走後も会場に留まることができてます。網走は市を上げて観光客を呼び込むというコンセプトがしっかりしていますが、旭川市はどのようなコンセプトを持ってリニューアルにするのか伺わせていただきます。
	事務局	複数のコンセプトがありますが、市民にマラソンを普及させたいということもその1つに考えています。参加者アンケートの結果を踏まえて、景観の移り変わり、急勾配、Z字カーブの解消を図りランナーに喜んでいただけるようコースを設定しています。また市外からも多くの参加者を呼び込み、食や川と橋のまちである旭川の魅力を感じてもらえる多数の橋を通るコースとし、旭川をPRすることで観光客の増加や経済効果も図っていきたくと考えています。
	委員	ではまずハーフマラソンの魅力を向上して、参加者や経済効果の増が図られた後にフルマラソンがあると期待しています。
	会長	経済効果や地域活性化はスポーツ推進にとって重要なので、その方向性で行っていただければと思います。東京マラソンも札幌マラソンも参加者が笑顔で走っているの、良い大会にしてフルマラソン化を目指していただきたいです。一方で2.5kmなどは走ろうと思えばどこでも走れる距離なので、こういった種目は必要性が高いと認識していますか。
	事務局	2.5kmは今回から一部公道を使用しますので、子どもにとって普段走れない道路を走るといのは良い刺激にもなると考えています。
	委員	フルマラソン化も良いですが、買物公園を走りたいですね。警察の許可が下りないのはわかっていますが、また、普段走られていない人にとって10km・20kmはハードルが高いの、2.5kmなら走ってみようかなと思う方もいらっしゃるの、この種目は必要だと感じています。あとは沿道からの声援がランナーにとって嬉しいのでそういった周知も必要ですね。
	委員	来てからわかるのではなく、来る前からわかる情報発信も大事ですね。
	事務局	今まで情報発信は弱かったので、募集時期を早めるですとか様々な方法で今大会から強化を図っていきます。
	委員	今回はリニューアルということのでかなりのチャンスだと捉えています。良いところ取りではなく、競技性でどう満足させるか、お祭りのことをどうするのかという戦略をきちっともっての方が良いです。市民はリニューアルで期待感をもって参加されると思うので、この1回目でダメなら後ははないという気持ちで頑張ってください。
会長	それでは意見も出揃いましたので議事第3号を終わります。	
(4)今年度の事業について	会長	議事第4号について事務局から説明願います。
	事務局	資料に沿って説明
	会長	部活動の地域移行について、中学校にはニュースポーツの部活動はないと思いますし、各教室の回数をこの回数設定にした理由などはありますか。

事務局	総合型スポーツクラブなど受け皿となっていただけのスポーツ団体と協議をして設定していません。将来の部活動の在り方として、現在の部活動の種目に関わらず気軽に参加できるニュースポーツなど多様な種目を実施しています。3年間の実証期間を設けており、今年度は受け皿としての機能を重点的に実証しているため、その結果を踏まえて来年度は学校側と連携した事業ができないか教育委員会とも協議をしているところです。
委員	今回の検証の目的と、結果について教えていただきたいです。
事務局	受け皿となる団体がどれくらいあるか、団体が募集をしたときの参加者数はどれくらいか、参加者アンケートなどでニーズの把握を行います。まだ事業は継続中ですので結果は出ていませんが参加者が少ないことが挙げられます。
委員	アスリートスクエアについて11月から開設されているとのことですが、仕事と重なり市役所に行く時間がないため、もっと皆さんの行きやすい所に展示することはできないでしょうか。
事務局	VRなどは新庁舎で体験される方は少ないので、科学館に設置することなどを検討しています。
委員	けんスポ!の対象者について、この回は子育て期、この回は働く世代というように各回で年代に合わせた目玉コンテンツがあれば盛り上がるのかなと思いました。
委員	国の事業の目的が継続的なものとなっているので、ターゲット層を変えていくことは難しいのですが、それぞれの回で絞って重点的にPRするなどやれることはあったのかなと思います。
会長	それでは意見も出揃いましたので議事第4号を終わります。
4 閉会	会長 事務局からその他何かありますか。
事務局	次回開催につきましては、未定となっております。開催時期が決まりましたら改めて案内させていただきます。
会長	以上で令和5年度第1回旭川市スポーツ推進審議会を終了します。